


政策3 男女共同参画社会の実現


施策1 男女共同参画の推進

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
<b>男女共同参画フロア運営事業</b>				市民協働・男女共同参画政策監
予算科目			決算額(円)	
会計	款	項	目	410
一般	2	1	17	
目的				
地域の市民活動に、男女共同参画フロアの運営を通じて啓発や意識の浸透を図ります。				
内容				
地域社会で行われる草の根的活動へ男女共同参画の視点を入れた展開を推し進めることで、男女共同参画社会の実現を目指します。				
男女共同参画フロア(愛称名:いこ〜る)での活動				
				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
男女共同参画フロアの承認団体と利用者数を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
15団体 1,900人 (平成22年度 の見込み)	目標	17団体 2,100人	19団体 2,200人	20団体 2,300人	21団体 2,400人	22団体 2,500人
	実績	20団体 3,039人	19団体 2,709人	18団体 2,928人	18団体 2,175人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画フロアの承認団体18団体（推進団体12，賛助団体6）の合計2,175人がフロアを利用しました。また、推進団体の代表者で組織するフロア運営委員会がフロアの運営や管理を行うとともに、運営会議を4回開催しました。</li> </ul>						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況			ほぼ達成できた（目標の80%～100%）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>承認団体21団体、利用者数2,400人の目標指標に対し、承認団体は18団体、利用者数は2,175人と、どちらも目標を下回る結果となりました。</li> <li>利用者数は減少しましたが、承認団体数は前年度と同数を維持し、男女共同参画に関する活動を行う団体・グループの催しや交流の場として、フロアを使用することが定着してきています。</li> </ul>						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな承認団体の掘り起こしが必要です。団体、グループの活動や催し、交流の場としての使用に供するだけにとどまらず、フロアが男女共同参画活動の拠点となり、草の根的な地域活動に男女共同参画の意識が広がっていくことが求められています。</li> <li>より多くの幅広い団体、グループにフロアを使用してもらうため、承認団体を増やす取り組みを行うとともに、フロア運営会議の中でも、男女共同参画の啓発に努めます。</li> </ul>						

政策3 男女共同参画社会の実現

施策1 男女共同参画の推進

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
<b>男女共同参画フォーラム開催事業</b>				女性交流支援センター
予算科目			決算額(円)	男女共同参画フォーラム 
会計	款	項	目	
一般	2	1	18	
335, 445				
目的				
男女共同参画社会の実現に向けて市民の意識の高揚を図ります。				
内容				
男女共同参画社会の推進に向けて市民と一緒にフォーラムを企画及び運営します。				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
男女共同参画フォーラム参加者に対するアンケートを実施し、「男女共同参画社会」ということばの周知度を公表します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
講演内容の理解度を問うアンケートを実施し、結果を公表(平成22年度)	目標	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします
	実績	「男女共同参画社会」の講演のうち理解度は 93.4%	90.9%	85.7%	95.1%	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>作家の雨宮処凛さんと、働く女性の全国センター代表の栗田隆子さんによるトークセッション「生きづらさを乗り越えるヒント！輝く女性にならなくても生きていくには…」を開催しました。</li> <li>男女共同参画川柳公募作品展、パープルリボンのパッチワークキルト展、パープルリボンの署名キルト活動、センターNEWS「Nande」のパネル展示等を同時に開催しました。</li> </ul>						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>「女性と貧困」をテーマに「生きづらさを乗り越えるヒント」として、国の施策である「女性の活躍推進」に切り込み、前向きにポジティブな生き方が良いとされる今の日本社会で、生きづらさを感じている若者の現状や、自己肯定感を持つことの大切さ、人に助けを求めることも自立につながるという、新たな生きるヒントが得られました。</li> <li>参加者の約95%が「男女共同参画社会」という言葉を「知っている」と回答し、内容についても約88%が「良かった」と回答しており、満足度の高い講演となりました。</li> <li>約50%が市外からの参加者でした。</li> </ul>						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会の実現に向けて、市民ニーズに即した事業展開と、様々な年代の市民が参加しやすく、多くの市民にアプローチできる事業内容の検討が必要です。</li> <li>若年層や男性に男女共同参画を積極的にアプローチするものや、ワーク・ライフ・バランスの推進など、すべての人が個性と能力を活かせる社会を目指すことを目的としたフォーラム事業の充実を図ります。</li> <li>市民や男女共同参画に関わる団体の事業への参画を増やし、適切な事業運営に取り組みます。</li> </ul>						

政策3 男女共同参画社会の実現

施策1 男女共同参画の推進


事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
<b>女性の相談室事業</b>				女性交流支援センター
予算科目			決算額(円)	
会計	款	項	目	1,446,233
一般	2	1	18	
目的				
悩みや問題を抱えている女性を支援します。				
内容				
女性が抱える悩みや問題について、女性弁護士による法律相談及び女性カウンセラーによる総合相談を実施します。				



事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
悩みや問題を抱えている女性の相談利用率（相談予約件数÷相談開設枠数）を維持します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
100% (平成21年度)	目標	95.0%以上を維持	95.0%以上を維持	95.0%以上を維持	95.0%以上を維持	95.0%以上を維持
	実績	86.0%	87.2%	105.9%	98.8%	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の「総合相談」と「女性のための法律相談」（いずれも予約制）を実施しました。相談件数は、総合相談が159件、法律相談が22件、その内DV相談が占める割合は22%でした。</li> <li>事務局での対応件数が大幅に増加し225件となり、DV被害者支援における各課や関係機関との連携が強化され、適切な情報共有が図れました。</li> <li>「長岡京市DV対策ネットワーク会議」の庶務を担当し、「DV被害者支援状況調査報告」や関係書類の事業内容やカウント方法を精査し、長岡京市におけるDV被害者の実態が把握できるよう努めました。</li> </ul>						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談利用率は98.8%でした。総合相談の相談利用率は平成25年度の110.9%から106.3%となりました。DV被害者支援を含め、事務局対応が平成25年度の97件から225件に増加したことから、総合相談の利用率低下につながったと考えられます。</li> <li>法律相談は相談枠数を平成25年度の36枠から48枠に増やしましたが、予約件数は従来と変わらなかったため、相談利用率は66.7%となりました。</li> </ul>						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な相談利用率及び実施率を維持するためには、相談事業の再構築が必要です。相談者のニーズに応じて、適切な情報提供と総合的な支援を行う相談体制の整備が課題となっています。</li> <li>増加傾向にある、DV緊急相談や児童虐待・高齢者虐待におけるDV被害者支援については、関係機関との連携強化による迅速な対応が求められています。平成27年度より「女性活躍推進のワンストップ相談窓口」として、面接と電話による「一般相談」を新設し、就業や起業、子育て支援や福祉などの分野横断的な情報提供と、女性の様々な問題や悩み、DV等の緊急相談に、専門相談や関係機関と連携してワンストップで対応する相談体制を整備します。</li> <li>関係機関においてDV被害者に適切な情報提供ができるよう「DV被害者自立支援マニュアル」を担当者向けに提供するとともに、市民向けのマニュアルの策定や、DV出前講座を実施し、DV防止啓発と被害者支援の強化を図ります。</li> </ul>						

政策3 男女共同参画社会の実現

施策1 男女共同参画の推進

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
<b>女性交流支援センター管理運営事業</b>				女性交流支援センター
予算科目			決算額(円)	
会計	款	項	目	2,939,580
一般	2	1	18	
目的				
さまざまな事業を通して、女性のエンパワーメントを支援する施設を管理します。				
内容				
女性交流支援センターにおける交流や相談、情報提供、啓発などの事業を通じて、女性が自らの権利と尊厳をもって生きることができるよう支援します。				
女性交流支援センター(交流スペース)				
				

事務事業の目標と成果

目標指標と実績

女性交流支援センターの来館者数を増やします。

現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
2,126人 (平成21年度)	目標	2,280人	2,350人	2,400人	2,450人	2,500人
	実績	1,849人	1,874人	1,806人	1,769人	

平成26年度の事業内容

- ・ JR長岡京駅西口のバンビオ1番館内に、男女共同参画社会の実現に向けた活動の拠点施設として開設された、女性交流支援センターの管理運営を行いました。
- ・ 女性交流支援センター開設以来、「女性の相談」「情報提供」「交流支援・啓発」という3事業を継続的に実施しました。
- ・ センター利用者(相談者・図書の利用・授乳室の利用等)1,076人、女性支援・啓発事業参加者(各種講座受講者・キルト展来場者等)533人、男女共同参画フォーラム参加者160人の合計1,769人の来館者があり、年間を通じて女性のエンパワーメントを支援しました。

平成26年度の達成状況

年度目標の達成状況 達成できなかったが、最終目標は達成する見込み

- ・ 年間を通じて「女性と貧困」をテーマとした連続講座(男女共同参画フォーラムを含む)を実施しました。連続して講座を受講される方も増え、アンケートからはどの講座も概ね好評でしたが、受講者の年齢層が高いため、託児希望も少なく、定員に達していない講座もありました。
- ・ パープルリボンプロジェクト2014第9回キルト展(作品数個人キルト119点・グループキルト1点)の来場者は述べ137人で、参加者増は未達成となりましたが、平成26年度は市職員にも働きかけ、参加型の「パープル&ホワイトリボン」メッセージボードの作製を行いました。
- ・ センターの交流スペースは、少人数のキルト教室の開催や、市民ワークショップ参加グループ等の交流の場として、楽しく参加し学ぶことができるよう活動支援をしました。

課題と今後の対応

- ・ 男女共同参画については、未だ性別に基づく固定的な役割分担が行われるなど、その意識の浸透は十分とは言えません。
- ・ 各種講座や講演会の実施については、社会情勢や市民ニーズを把握するとともに、女性のエンパワーメント向上を支援するだけでなく、男性や若年層の意識改革やワーク・ライフ・バランスの推進など、様々な年代の市民が参加できる事業展開を検討します。
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた活動の拠点施設として、積極的な情報発信と女性の相談事業の充実に努め、本センターの適正な管理運営を行います。